

科目ナンバリング		P-PUB01 8N006 SJ90			
授業科目名 <英訳>	臨床遺伝学演習 (GC限定) Clinical Genetics, Exercise		担当者所属・ 職名・氏名	附属病院 医学研究科 医学研究科 医学研究科	特定准教授 小川 昌宣 特定講師 川崎 秀徳 特定助教 鳥嶋 雅子 特定助教 吉田 晶子
配当学年	専門職	単位数	1	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	水5・6	授業形態	演習 (対面授業科目)	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
<p>【基本情報】別称：「遺伝カウンセリングロールプレイ演習」 授業日時：後期水曜5限（例外予定にご注意ください） 教室：G棟3階 演習室・状況によりオンライン授業を実施することがある、レベル：応用 担当者：川崎秀徳（科目責任者）・小川昌宣・吉田晶子・鳥嶋雅子・村上裕美・本田明夏・源明理・春山嵯依子</p> <p>【コースの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習開始4週間前に、オリエンテーションを行う（2023年度は9/4とする）。 ・基本設定は担当教員がオリエンテーション時に関係者全員に通知する。検討過程で基本設定に変更がある場合は、関係者全員に事前に必ず知らせる。 ・実際の遺伝カウンセリングは、臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーで役割分担しながら、チーム医療として行う。通常、遺伝学的検査の結果開示など、臨床遺伝専門医が実際には主に行っていることについても、ロールプレイでは「遺伝カウンセリング担当者」として実施する。これは遺伝カウンセラーとして貴重な経験になるだけでなく、臨床遺伝専門医の立場を理解するのにも役立つ。また、頻度の高い疾患については認定遺伝カウンセラーとして十分な知識を有しておくことは、クライアントから再度質問された場合などにも対応できる力となる。 ・第1回～第8回は1名のクライアントを対象に、第9回～第16回は2名のクライアントを対象にロールプレイを行う。全体を通じて、遺伝カウンセリングの構造・流れを適切につかみ、主訴・経緯の確認からアジェンダセッティング、疾患の説明および意思決定支援と、全体を通じてカウンセリングマインドをもって対応できることを目指す。また、クライアントが2名のテーマでは、クライアント間のパワーバランスや意見の違いへの対応や配慮を学ぶ。 ・ロールプレイ実施の2週間前までに遺伝カウンセリング担当者（M1）・CGCメンター・担当教員での事前打合せを実施する。その他、適宜打ち合わせを行う。 ・クライアント役も必要に応じてシナリオ設定者と打ち合わせを行う。尚、クライアント役の1回はM1が担当する。 ・前日までに遺伝カウンセリング担当者（M1）は遺伝カウンセリングで使用する資料を配布する。 ・ロールプレイ当日も、担当教員やメンター、およびオブザーバから活発かつ建設的なフィードバックを求めるが、フィードバックシートでのコメントも収集する。 ・遺伝カウンセリング担当者（M1）、CGCメンター、担当教員での当日の振り返りを行う。また、後日、遺伝カウンセリング担当者（M1）とCGCメンターで一部の逐語録やフィードバックシートを用いた振り返りを行い、1週間後を目安に担当教員へレポートを提出する。また、全ロールプレイ終了後、全体を通じての振り返りレポートを鳥嶋・吉田へ提出する。 ・履修学生の人数により、予定を変更する可能性がある。 					
臨床遺伝学演習 (GC限定) (2)へ続く					

臨床遺伝学演習（GC限定）(2)

[到達目標]

遺伝カウンセラーとしての実践的な技術を身に付け、現場での実践的な対応能力を獲得する。臨床遺伝学の知識と遺伝カウンセリングの基本的技術を習得する。

[授業計画と内容]

【第0回】9月4日5限<全員>「ロールプレイの行い方とオリエンテーション、遺伝カウンセリング実習」ロールプレイの目的、方法と意義について。遺伝カウンセリング実習についてのオリエンテーション

【第1回】10月2日 / 【第2回】10月16日

<小川・吉田>「遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）」乳がん患者が多数いる家系での遺伝性乳がんのリスクの評価および遺伝学的検査の適応。血縁者への情報共有や発症前診断について学ぶ。また、乳がん患者が多数いる家系での血縁者への情報共有や発症前診断について学ぶ。

【第3回】10月23日 / 【第4回】10月30日

<川崎・村上>「Marfan症候群」比較的頻度が高く、生命予後に関わる合併症をきたしうるMFSに関して、疾患概要・サーベイランスの必要性・遺伝学的検査の意義を説明でき、at risk血縁者の受診につなげることを目指す。

【第5回】11月6日 / 【第6回】11月13日

<小川・鳥嶋>「Duchenne型筋ジストロフィー（DMD）」DMDと診断された孤発例のケースを通して、遺伝学的診断の進め方、X連鎖性疾患における母親あるいは女性同胞の保因者診断の進め方を学ぶ。

【第7回】11月20日 / 【第8回】11月27日

<川崎・吉田>「脆弱X症候群」脆弱X症候群の症状、トリプレットリピート病や表現促進、女性保因者発症の説明を学ぶ。X連鎖性遺伝での母親の疾患の受け入れや心理社会的支援を検討する。

【第9回】12月4日 / 【第10回】12月11日

<小川・本田>「習慣流産」習慣流産症例において、原因の産婦人科的評価に加えて遺伝学的検査に基づく評価と次回妊娠に向けて着床前診断も含めた提案に関わる遺伝カウンセリングを学ぶ。

【第11回】12月18日 / 【第12回】12月25日

<川崎・春山>「ミトコンドリア病（MELAS）」MELASと診断された小児のケースを通して、母系遺伝、表現の多様性、確定できない情報の伝え方等のミトコンドリア病における遺伝カウンセリングを学ぶ。

【第13回】1月8日 / 【第14回】1月15日

<小川・鳥嶋>「Turner症候群（モザイク・小児）」Turner症候群と診断された女児のケースを通して、染色体数的異常の理解を深めるとともに、クライアントの心情に配慮しながら、疾患概要ならびに今後の対応に関して情報提供できることを目指す。

【第15回】1月22日 / 【第16回】1月29日

<川崎・源>「遺伝性難聴」多くの原因遺伝子があり、遺伝形式も多様な遺伝性難聴をテーマに、遺伝形式の説明やAt risk者の評価を学ぶ。夫婦で意見が異なる際の配慮についても検討し、実践する。

参加者：担当、関係全教員、遺伝カウンセリング担当者院生（M1）、オブザーバ（M1、M2、博士院生）、CGCメンター

記録：オブザーバーのM1（ビデオ撮影およびファイルをサーバに保存：復習用）

[履修要件]

遺伝カウンセラーコース1回生限定必修科目（事前確定科目）

臨床遺伝学演習 (GC限定) (3)

[成績評価の方法・観点]

演習における積極性、実践的能力、出席、レポート等を総合的に評価する

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

[授業外学修(予習・復習)等]

適宜指示する

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。